

2020年度  
第5回 理事会議事録

2021年 3月 18日

一般社団法人 全国鐵構工業協会

# 2020年度 第5回理事会議事録

1. 日 時 2021年 3月 18日 (木) 14:00～15:35
2. 場 所 本議場= 鉄鋼会館 811号室  
(本議場に出席しない理事及び監事はオンラインにて参加)
3. 構 成 員 16名
4. 出席構成員 15名 (別紙 出席者名簿参照)
5. 議 事 次 第
  - (1) 開会の辞
  - (2) 定足数確認報告 (定款第36条)
  - (3) 会長挨拶
  - (4) 前回理事会議事録の確認
  - (5) 審議事項
    - 第1号議案 2021年度 予算(案)承認の件
    - 第2号議案 2021年度 永年勤続表彰対象者承認の件
  - (6) 報告事項
    - 1) 委員会等活動報告
      - ①運営委員会
      - ②災害時のBCP策定WG
      - ③採用ポスター作成WG
    - 2) 代表理事及び業務執行理事の職務執行状況報告
  - (7) その他の定例報告事項
    - 1) 構成員登録状況
    - 2) 着工面積と推計鉄骨需要量
    - 3) 主要会議日程
    - 4) 支部報告
  - (8) 閉会の辞

## 6. 議 事 要 旨

### (1) 開会の辞

進行役の辰巳専務理事より開会する旨が告げられた。

### (2) 定足数確認報告

辰巳専務理事より、理事総数 16 名のうち議場への出席者 7 名、オンラインでの出席者 8 名で出席者合計 15 名、欠席者は神崎理事 1 名であり、定款第 36 条（理事会の定足数）に基づく成立要件となる定足数が満たされている旨、報告された。

### (3) 会長挨拶

米森会長より「今回も半数以上の方がオンラインでの参加となり、少し慣れてきたものの不自由で手間も掛かりますがご協力をお願いします。本日は、総会に向けた議案もありますので審議の程よろしくをお願いします。」との挨拶があった。

### (4) 前回理事会議事録の確認

辰巳専務理事が要点を読み上げ、確認、了承された。

### (5) 審議事項

#### 1) 第 1 号議案： 2021 年度 予算(案)承認の件

2021 年度予算(案)説明に先立って、2020 年度決算について、2021 年 1 月までの実績をもとにした決算見込みの概要および対予算差異内訳等について、議案書[理 20-5-議 1](p3)にそって事務局より説明された。

説明の要点は以下の通り。

- ・経常収益は、コロナ禍による検査技術者講習会の受講者数大幅減等のため対予算比約 33 百万円減収となる見込み。
- ・経常費用のうち法人管理関係費用は、コロナ禍による総会後の懇親会、新年賀詞交歓会等の中止、理事会等の諸会議のオンライン化等により 36.6 百万円(対予算比▲30.4 百万円減)と、大幅減額の見込み。

技術開発普及事業関係費用は、研究開発助成金(全構協実施型・コラム材角部の半自動溶接施工実験)の支払いを 2020 年度に一括支払いしたことによる増要素はあったが、超音波検査技術資格取得支援の対象者がコロナ禍のため大幅に減少したこと、安全衛生関連資格取得支援事業を来年度に繰り下げたこと等により 27.0 百万円(対予算比▲23.9 百万円減)と、大幅減額の見込み。

会員共益事業関連費用は、コロナ禍のため青年部会との意見交換会、賛助会員との懇談会を中止したこと、各県青年部活動費助成金申請件数が減少したこと、運営委員会の会議をオンラインで実施したこと等により 13.3 百万円(対予算比▲16.8 百万円減)と、大幅減額の見込み。

間接費も、新規採用者(2 名)の採用時期を来年度に繰り下げたこと等により 127.4 百万円(対予算比▲18.7 百万円減)と、大幅減額の見込み。

- ・以上より、予算は収支均衡であったが、決算では当期経常増減額が 58.1 百万円の増額(黒字)となる見込みである。

引続き、第 4 回理事会で了承された「予算編成の前提・考え方」にそって編成された 2021 年度予算(案)について、その概要及び 2020 年度予算との差異の主要点等が、議案書[理 20-5-議 1](p4)にそって事務局より説明された。

説明の要点は以下の通り。

- ・経常収益のうち、正会員会費収入は、正規額より 10%減額し、構成員数は今年度横這いとするがグレード構成は最近の傾向から上位比率増を見込み、215 百万円(対前年度予算比+2 百万円増)とする。

事業収益は、検査技術者講習会(教育センターからの受託分を含む)の前年度からのずれ込み分があるため増額する。以上の結果、経常収益合計額は 405.2 百万円(対前年度予算比+11.9 百万円増)とする。

- ・経常費用のうち法人管理関係費用は、コロナ禍のため上期の理事会はオンラインでの開催が主となり、また、総会後の懇親会は開催できないと見込み 57.8 百万円(対前年度予算比▲9.2 百万円減)とする。

技術開発普及事業関係費用は、サポート制度利用者数増、特化物質作業主任者資格取得支援等の費用は増加するが、NDI 試験対策講習の主催を従来通り各支部とすること、工程管理表等周知活動の完了等の減少要素もあるため 51.2 百万円(対前年度予算比ほぼ横ばい)とする。

検査技術者養成事業は、2020 年度からずれ込んだ講習会開催のため 61.4 百万円(対前年度予算比+8.6 百万円増)を計上する。

会員共益事業関係費用は、上期の運営委員会開催費用はオンラインでの開催を見込むため減となるが、今年度下期から活動を開始した「災害時のBCP策定WG」等 5 つのWGに係る費用を新規に計上し、また、2020 年度は開催できなかった青年部との意見交換会、賛助会員との懇談会は開催する前提で費用計上することにより、37.1 百万円(対前年度予算比+7.0 百万円増)とする。

以上の結果、経常費用合計額は 404.5 百万円(対前年度予算比+11.4 百万円増)とする。

- ・以上の収益・費用の結果、当期経常増減額は+0.7 百万円で、ほぼ収支均衡した予算となる。

本予算案に対する異議等はなく、6 月 11 開催予定の第 54 回通常総会に原案どおり付議することが承認された。

## 2) 第 2 号議案： 2021 年度 永年勤続表彰対象者承認の件

表彰規程第 3 条による永年勤続表彰に関し、2021 年度表彰対象候補者が、議案書[理 20-5-議 2]により提示され、質問、異議等はなく、6 月 11 日開催予定の第 54 回通常総会終了後に表彰状及び記念品を授与することが承認された。

## (6) 報告事項

### 1) 委員会等活動報告

#### ①運営委員会

3月12日に開催された運営委員会の概要について、「構成員企業の業績実態調査」の結果報告を行ったこと、「原価管理に関する講習会講師の派遣依頼」があった4県に対しては、各県の実情に合わせて個別対応を検討することとしたこと等が、議案書[理 20-5-報 1]①(p11)にそって大竹委員長及び事務局より報告された。

#### ②災害時のBCP策定WG

3月15日に開催された災害時のBCP策定WGの検討結果の概要について、中小企業庁「BCP策定運用指針」にある中級コース用の様式をベースにして、構成員は各社の実情に合った内容を記入すれば比較的簡単に各社独自の「事業継続計画（BCP）」に仕上げるができる「構成員向けの基本雛型」を作成する予定であることが、議案書[理 20-5-報 1]②(p12)にそって、また「BCPのサンプル例-抜粋版」を示しながら、大竹リーダーより説明された。

#### ③採用ポスター作成WG

第4回理事会(2月18日開催)において「鉄骨ガール」を題材としたデザインで再検討を指示された以降の検討状況について、瑞穂印刷及びKプロビジョンから提案されたデザイン案、3月5日のWGの意見、3月9日の三役会の意見等が、議案書[理 20-5-報 1]③(p13～16)及び別紙にそって、寺田リーダーより説明された。協議の結果、議案書 p15-16 のデザインを基本にして、キャチフレーズ、文字配列等の微修正を加えた最終案作成はWGに一任することとした。

また、本ポスターから誘導するランディングサイトの作成は、ホームページ改造WGが担当することとした。

### 2) 代表理事及び業務執行理事の職務執行状況報告

法人法第91条第2項及び定款第24条第6項に基づき、代表理事及び業務執行理事の職務執行状況について、議案書[理 20-5-報 2] (p17)にそって辰巳専務理事より報告され、了承された。

## (7) その他の定例報告事項

### 1) 構成員登録状況

2021年3月10日時点の構成員数は、前回報告時(2月18日)より1社減少し、2,209社であること等が、議案書[理 20-5-他 1] (p19-23)により、辰巳専務理事より報告された。

### 2) 着工面積と推計鉄骨需要量

2021年1月の鉄骨推計需要は約32.3万トン(前年同月比19.0%増)であることが議案書[理 20-5-他 2] (p25)により事務局から報告された。

### 3) 主要会議日程

議案書[理 20-5-他 3] (p26)にそって、変更箇所が事務局より説明され、確認された。

### 4) 支部報告

#### 〔北海道〕

- ・手持工事量は、各グレードともファブ間でバラツキがあるが、春に向けて仕事量は増加傾向にある。稼働率も、H、Mともに 90～100%で上昇している。しかし、見積物件数は少ない状態が続いている。
- ・価格については、鋼材価格の上昇にもかかわらずゼネコンからは厳しい指値が出ている。目先の大型物件は少なく、ある大型物件ではゼネコン 16 社が見積を出しているが、道内ファブの値下げに応じない姿勢に対応し、見積依頼先を本州や海外ファブにも広げている。

#### 〔東北〕

- ・支部会を 2 月に開催した。次回は 4 月に開催する予定である。
- ・岩手県と福島県では、溶接ヒュームのマンガン濃度規制に対応し、濃度測定会社と防護マスクメーカーの担当者を招いて研修会を開催した。
- ・手持工事量は、Hは 6 ヶ月以上、Mは 2～6 ヶ月、Rは 1～3 ヶ月程度を確保している。見積物件数は少ないが、以前に比べると若干増えている。
- ・価格は、鋼材価格が上がっていることもあり維持に努めている。
- ・労基署の立入りがあり、特化物に指定されているエチルベンゼンを含むエポキシ系錆止塗料の管理について指摘があった。設計段階で同塗料が指定されないよう設計会社に働きかけることが必要だと感じている。

#### 〔関東〕

- ・2 月 24 日に運営委員会を開催した。3 月 30 日には支部会を対面で（対面参加できない方は web で）開催する予定で、場所は東京を避けて群馬とする予定である。
- ・見積物件数は、一部の県では増加に転じたとの報告があるが、大勢は少ない状態が続いている。
- ・価格は、地場ゼネコンの価格競争が激化しており、安値受注した物件の皺寄せが下請けに押し付けられ、ファブも厳しい対応を迫られている。
- ・手持工事量、稼働率は二極化が進み、その幅が広がっている。

#### 〔北陸〕

- ・ゼネコンの過当競争が激化しており、価格の低下→下請けに対する安値の指値という状況になっている。特に、商社、特約店が絡んだ物件では、以前から安値の噂があったが、現実となっている。
- ・Hグレードファブは、比較的安定した仕事量と稼働率を維持しているが、地元物件への依存度が大きいM以下のファブは苦勞しており、この厳しい状況はしばらく続きそうである。

#### 〔中部〕

- ・厳しい状況が続く中、各県の理事会等は開催されている。しかし、愛知県が緊急事態宣言の延長対象となっており支部会が開催できない状態が続いている。

宣言が解除されれば3月末に開催する予定である。

- ・手持工事量は、Hは3～12ヶ月、Mは1～12ヶ月、R以下は1～7ヶ月と、厳しい状況が続いている。稼働率は50～130%と企業間格差が大きい。見積物件数は普通であるが、受注に至る件数は少ない。
- ・価格は、ゼネコンとの厳しい交渉を迫られるケースが多いが、原価管理を励行し無理な指値には応じることなく維持に努めている。

#### 〔近畿〕

- ・緊急事態宣言下で、組合活動、支部活動とも実施できない事態が続いている。そうした中ではあるが、2月26日に支部長、副支部長2名で今年度決算見通し、来年度予算・事業計画について打ち合わせを行った。支部会は、3月25日に開催予定である。
- ・手持工事量は、Hは5～10ヶ月、Mは2～5ヶ月、R以下は1～3ヶ月程度である。稼働率は、50～100%、見積物件数は少ない状態が続いている。
- ・価格は、ゼネコンからの値下げ圧力が高まっており、鋼材価格上昇分の吸収は難しい。
- ・春以降の需要回復に期待している。

#### 〔中国〕

- ・3月5日に支部会を対面形式で開催した。次回は4月20日の予定。
- ・手持工事量は、Hは秋～年末まで確保しているが、Mは夏まで。稼働率も100%を維持している社がある一方で、10～20%程度の社もあるなど2極化しており、相互支援で凌いでいる。見積物件数は少ないが、秋以降発注が増えそうな兆しがあり、今が踏ん張りどころである。

#### 〔四国〕

- ・溶接ヒュームの規制への対応に関する勉強会を各県で実施している。
- ・手持工事量は、Hは半年分ほど確保しているが、M以下は1～3ヶ月と、非常に少なく、相互に融通しあって凌いでいる。稼働率は70%程度、見積物件数は少なく、年内の回復は期待できない状況である。

#### 〔九州〕

- ・2月24日に支部理事会を、2月26日に事務局会議を、各々オンラインで開催した。
- ・手持工事量、稼働率ともにファブ間の格差が拡大している。
- ・工事計画はあり今後には期待はしているが、発注時期が不透明であり不安もある。
- ・ゼネコン間の過当競争激化による価格低下がみられ、今後指値が下がることを懸念している。組合加入企業間では価格維持の意思統一はできているが、アウトサイダー及び他地域のファブの動き次第では維持できなくなることもあり、強く危惧を抱いている。
- ・4月21日に支部会を対面で開催予定であり、併せて全構協三役会との意見交換会も予定している。
- ・神崎支部長が体調の事情により任期途中で退任される予定で、4月中旬に各県理事長で次期体制について相談する予定である。

(8) 閉会の辞

以上をもって、審議事項、報告事項、その他の定例報告事項等、予定された全ての事項が終了したので、議長は閉会を宣し散会した。

以 上

(別 紙)

## 出席者名簿

| <u>役 職</u> | <u>氏 名</u> | <u>出 席 形 態</u> |
|------------|------------|----------------|
| 会 長        | 米 森 昭 夫    | 議 場            |
| 副 会 長      | 永 井 毅      | 議 場            |
| 〃          | 大 島 嗣 雄    | 議 場            |
| 〃          | 山 本 泰 徳    | 議 場            |
| 専務理事       | 辰 巳 功      | 議 場            |
| 常務理事       | 大 橋 利 勝    | 議 場            |
| 理 事        | 佐 藤 正 記    | オンライン          |
| 〃          | 渡 辺 勝      | オンライン          |
| 〃          | 大 竹 良 明    | オンライン          |
| 〃          | 寺 田 健 信    | オンライン          |
| 〃          | 多和田 桂 太郎   | オンライン          |
| 〃          | 出 雲 津 芳    | オンライン          |
| 〃          | 福 田 秀 章    | オンライン          |
| 〃          | 井 原 常 裕    | オンライン          |
| 〃          | 齊 藤 眞      | 議 場            |
| 監 事        | 村 上 眞 樹    | 議 場            |
| 〃          | 野 田 博 文    | オンライン          |
| 〃          | 高 橋 伸 和    | オンライン          |

|      |     |       |     |             |
|------|-----|-------|-----|-------------|
| 理事総数 | 16名 | うち出席者 | 15名 | 〔欠席： 神崎 隆一〕 |
| 監事総数 | 3名  | うち出席者 | 3名  |             |